

# 建設分野の 外国人材受入れ ガイドブック2020

建設技能人材研究会 編著

この一冊で  
新たな在留資格による  
外国人建設労働者の  
受入れのすべてが  
わかる!!

技能実習との違い、外国人の待遇原則、受入基準や手続を詳説!!

受入企業、建設業者団体、登録支援機関すべての実務必携書!!

「建設特定技能受入計画のオンライン申請の手引き」

「元請企業の下請指導ガイドラインの内容」

「受入れ後の適正な就労管理に必要な事項」

新たに登載!!

はじめに(抜粋)

日本は、現場で働く若年者層が減り続けています。

少子高齢化で生産年齢人口は減少の一途をたどっていますが、建設業ではこの傾向がより深刻です。こうした問題に対応し、外国人を適正かつ円滑に受入れるため、建設分野での特定技能外国人の受入れに当たっては、出入国在留管理庁からの在留資格取得の前に、受入企業は、受入計画を作成して国土交通省の認定を受け、認定後も認定計画の実施状況について国土交通省又は適正就労監視機関から確認を受けることが義務付けられました。受入計画の認定には、賃金等の処遇の水準、建設キャリアアップシステムへの事業者登録及び外国人の技能者登録、特定技能外国人受入事業実施法人への加入などが要件となります。また、2020年4月から受入企業の事務負担を軽減するため、オンライン申請が可能となりました。

本書は、特定技能外国人の適正かつ円滑な受入れのための行政手続のほか、受入企業の立場から成功する受入れのためのポイントをわかりやすく解説しています。ガイドブック2020年版では、第1章を読めば、受入れ制度のアウトラインを理解できるようにし、第2章以降でさらに受入れ実務を行う読者のために、行政手続の詳細が分かるように構成を工夫しています。また、新たにオンライン申請方法の解説を加えるとともに、2020年に追加された業種、特定技能外国人の現場入場に際する元請企業による下請指導ガイドラインの内容、受入れ後の適正就労監視に必要な事項等、ガイドブック2019発刊以降に決定した事項についても解説し、一層充実した内容となっています。

これにより、特定技能外国人制度を有効に活用して、今後深刻化する人手不足の状況を乗り切り、引き続き地域の守り手としての建設業の役割を果たしていただければと思います。

国土交通省土地・建設産業局建設市場整備課  
労働資材対策室長 藤條 聡

A4判・並製・定価本体 2,300円(税別)・図書コード 3410